



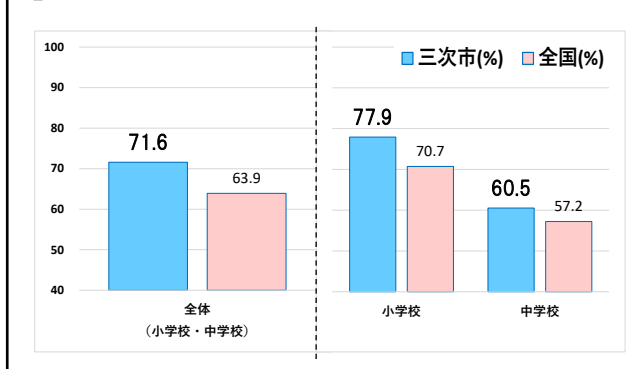
三次市では、本年1月に、市内小学校1年生から中学校2年生の児童生徒を対象に「学力到達度検査」を行いました。

この検査の目的は、児童生徒一人ひとりに「基礎・基本の力」と「活用する力※」が定着しているかを把握し、授業改善を図り、より分かりやすい授業づくりを進めていくものです。

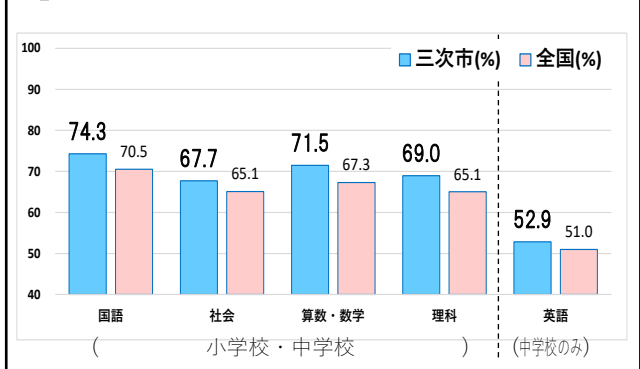
(※活用する力とは、「基礎・基本の力」をもとに、学習した内容を組み合わせて未知の課題を解決していく力)

令和3年度三次市学力到達度検査の結果

【全体の結果】全学年、全教科を合わせた平均点



【教科別の結果】教科ごと全学年を合わせた平均点



◆小学校と中学校をあわせた全体の正答率は71.6%で、全国平均を7.7ポイント上回りました。

◆小学校、中学校共に全国平均を上回っており、学力はおおむね定着しています。

◆教科別にみると、すべての教科で全国平均を上回る学力がついています。

◆問題の内容別にみると、**活用する力**に関する問題において、「資料をもとに考察し、表現する問題」、「複数の資料に着目して考察する問題」、「教科の用語を使って説明する問題」など、**資料を読み取る問題**や**表現する問題**に課題が見られました。

今後に向けて

資料を読み取る力、表現する力を高めるために！

- ① タブレット端末用学習ドリルを使うことで、児童生徒一人ひとりの理解のペースや苦手分野に合わせて学習を進めていきます。
- ② 目的に応じて必要な資料を集めたり、読み取ったりする活動を行います。
- ③ 調べたことを図表に表したり、調べたこと、理解したことを言葉で表したりする活動を取り入れます。
- ④ 学校図書館を計画的に利用し、様々な読書活動を通じて、児童生徒が自分の考えを形成し表現するなどの活動を取り入れていきます。

